

信号変換基板 取扱説明書

RS232C 赤外線

パイオニア ホームターミナル BA-V525用

(有)ロジックス

857-0055

長崎県佐世保市湊町2-15

E-mail : logix@lgx.co.jp

電話 : 0956-25-3963

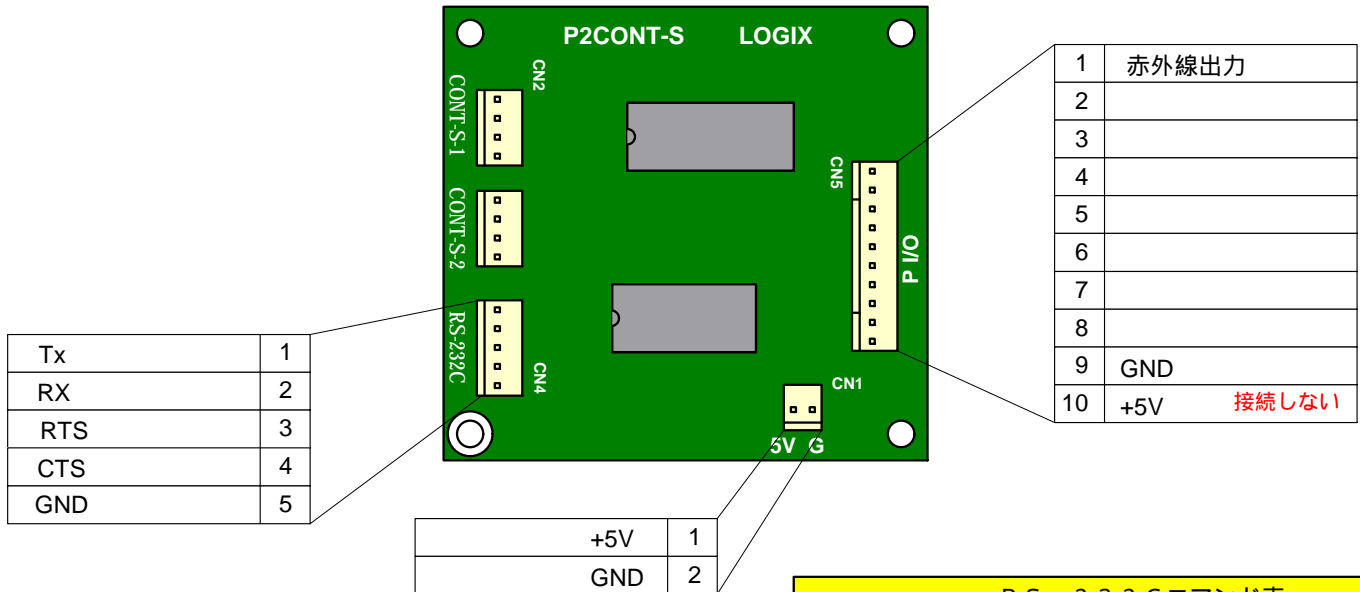
FAX : 0956-24-8564

WebPage : www.lgx.co.jp

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。

入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。

注意点として、接点入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。



CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します (消費電力: 10mA以下)

通信条件

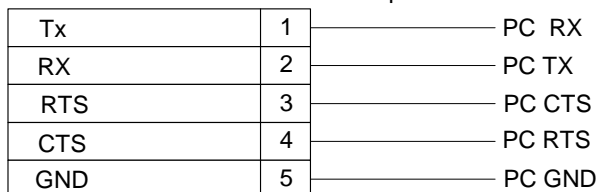
Speed=9600bps,

Length=8bit,

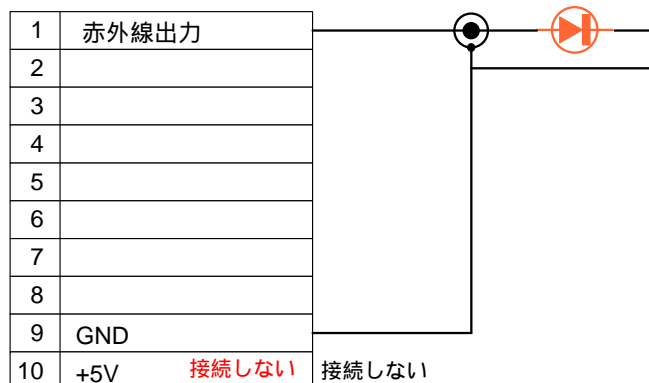
Parity=Non,

StopBit=1

CN4 : RS-232C入力



CN5 : パラレルコントロール入力



RS-232Cコマンド表

チャンネル 10キー制御	3桁の数字の後にRET (例) 101[CR] (31h 30h 31h 0Dh) チャンネルが101に変わります。
	2桁の数字の後にRET (例) 15[CR] (31h 35h 0Dh) チャンネルが15に変わります。
	1桁の数字の後にRET (例) 8[CR] (38h 0Dh) チャンネルが8に変わります。
チャンネル UP/DOWN 制御	コロンの後にRET (例) :[CR] (3Ah 0Dh) チャンネルがUPします。
	セミコロンの後にRET (例) ;[CR] (3Bh 0Dh) チャンネルがDOWNします。
電源制御	'<'の後にRET (例) <[CR] (3Ch 0Dh) このコマンドごとに電源がON/OFF します。

これらのコマンドを送信すると変換基板はワイヤレスリモコンのコマンドに変換し出力します。ワイヤレスリモコンのコマンド発行に時間がかかります。たとえば3桁のチャンネルの場合、1桁あたり250msecかかりますので合計750msec必要になります。コマンドが終了した時点でACKを返しますので、ACKを確認してから次のコマンドを出してください。無効コマンドに対してはNAKを返します。なお、チャンネルは0-999までをACKとして処理しています。機器は113まで受けつけるようです。